

1. 前回、打ち合わせ内容 (2015/12/16)

授業説明

タイトル：「情報システム基礎演習」
本学科、2年生の必修講座。前期開講（来年度は4/6～7/20）。
全6テーマを2週にわたり実施。学生は2週毎に別テーマに取り組む形態。

情報システム基礎演習 各班2週、2時限/週、計6時間、各班人数は20名程度

	4/6	4/13-20	4/27-5/11	5/18-25	6/1	6/8-15	6/22-29	7/6-13	7/20
A班	ガイダンス	テーマ1	2	3	レポート指導	4	5	6	まとめ
B班		テーマ6	1	2		3	4	5	
C班		テーマ5	6	1		2	3	4	
D班		テーマ4	5	6		1	2	3	
E班		テーマ3	4	5		6	1	2	
F班		テーマ2	3	4		5	6	1	

今般、「授業担当の変更」、「前時代的テーマの払しょく」のため、御社の kintone をベースに、新規テーマを設定する。

Ex. 他テーマ：「コンパイラ」、「画像処理」、「CG」、「論理回路」、「Webページ開発」

その他情報共有

From [redacted] の活用事例、研究室での活用事例のご紹介
To 本学のフィールドプラクティス取り組みをご紹介
ちなみに、第8回情報システム教育コンテスト（3/19 青山学院大学）で、発表致します。

2. テーマ概要 (案)

テーマ名 クラウドコンピューティング (基礎演習 テーマ5)

目的 今やあたりまえに活用されている「クラウドサービス」を知り、実際のサービスに触れることにより、下流工程のみの学習からの脱却を図る。

概要 一般的なソフトウェア開発プロセスを理解した上で、サイボウズ株式会社「kintone」を用い、クラウドサービスを活用したアプリケーション開発を学ぶ。

内容 (学生に配布する「指導書」構成)

1. 目的、概要
2. ソフトウェア開発プロセス (ウォーターフォールモデル/アジャイルモデル)
3. クラウドサービスの現状
4. 実験

注記、実際の「指導書」には、上記目的を「そのまま」書くことはございません。
この場限りの情報としてお取り扱いいただきますよう、お願い申し上げます。

3. 実施案

実施環境

- DeskTOP PC / Fujitsu ESPRIMO D5270, 19inch display, Windows10 home
- office系のソフトウェアはインストールせず、ドキュメント類はGoogle Document で作成させる (入学時、学生毎にGoogleアカウントを付与)



体制 (チーム) 2名1チーム (kintoneライセンスは、1ライセンス/チーム)

スケジュール

時間	内容	成果物
1週目 4限	・演習説明 ・ソフトウェア開発プロセス講義 ・kintone基本機能演習	
5限	・要求仕様理解 ・アプリケーション開発	機能仕様書 (kintoneアプリは作成途中)
2週目 4限	・アプリケーション開発 ・ドキュメンテーション	テスト仕様書
5限	・アプリ、ドキュメント提出	機能仕様書、テスト報告書 Kintoneアプリケーション

4. お願い事項/今後の展開

お願い事項

- 本学の指導書にて、御社ドキュメント類 (例：はじめてのkintoneガイドブック) の流用
- 学生の教材に適したアプリケーション案提示 (現行、ビジネスアプリばかりである)
- 本学科学生向けに、青野社長のビデオメッセージ (2～3分) → 演習説明時に流す

今後の展開

- kintoneを研究室マネジメントに活用 (2016.後期以降)
- 研究テーマとしての取り組み (従来型開発との優位性/研究テーマ検証ツール)

研究室定員 (予定) ... 本学科では3年後期に研究室配属

	2015 後期	2016 前期	2016 後期	2017 前期	2017 後期
4年生	10	10	10	15	15
3年生	10		15		15~20
合計	20	10	25	15	30~35

・研究室マネジメントが大変になることが予想される
・ただし、現行ツールからの移行期間が必要

本件窓口

大阪産業大学 デザイン工学部 情報システム学科 山田 耕嗣
TEL : 072-875-3001 (内線7642), E-Mail : [redacted]